
HI・RU・KO

ame*

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

HI・RU・KO

【Nコード】

N8895E

【作者名】

ame*

【あらすじ】

生まれはしたものの、海の果てに流されてしまったコトバたち。よくあるようなポエムに食傷気味の方は、どうぞ。

T r e e o f L i f e

■ T r e e o f L i f e ■

いいかい人間の進化は

生まれてからだって続いていくんだ

だから時を経るにしたがって キミは

パパやママやきょうだいとだって

だんだん違う生き物になっていく

やがて キミの周りには

自分と似たような存在が現れ

友達になるだろう

でもキミも友達も それぞれ進化する

互いの距離は やはり少しずつ

開いていくのだ

ある時期になると キミは

自分と同種と確信するような異性に出会い

その後の人生を共に過ごそうと思う

でも やはり それぞれは別々の

進化を辿るのが世界の構造だ

進化の系統樹は絶え間なく枝分かれを続け

巨大になっていく

ついにキミは この宇宙の中で
ただひとつだけの生物になるだろう

そして

それからも さらに

進化を続けるのだ

Tree of Life (後書き)

ポエトリーリーディング&動画

<http://www.youtube.com/watch?v=Tg-JnJP7DOg>

●URLはリンクになっていませんので、アドレスバーにコピーしてエンターキーを押してください。

s t r - a n g - i s t

■ s t r - a n g - i s t ■

世

界を

破

壊し

尽

くすと

また

次

の画

面が

現れ

けっし

て

G A M E

O V E Rはで

きな

い

が

も

ちろん

あ

る種

人

間な

が けだ るわ 読でき 解
ードで キーワ
の け
つだ ひと
う 存症とい
依 を
て
のすべ 動
間の行 人
たり
ってい とを知
というこ
ればい いのだ
消す
を抹
自分 ら

そ
の光
性的異
体も
しかに存
た
在し
て
か
れらは
可
知領
域の増
殖値が虚
数の
の
頃か
ら確
認さ
れてい
る
自虐的
に
ポジティ
ブな
リ
ビドーの
キャリ
アでもな

く
た
だし
あら
ゆ
る場所にお
いて
完
全に
strangerであ
るこ
とには
資
質が必
要とさ
れ
るのだ
ろ
う

P r e t t y A p o c a l y p s e

■ P r e t t y A p o c a l y p s e ■

システムのカプセル
共同性のシエルター

神を必要としない

F a r - E a s t の巨大な島都市で

きみは熟れた市場社会の
子供たちの ひとり

無垢で可愛いキャラ以外の
なにものでもないから
誰も自分に敵意など抱くはずがないわ…

かたくそう信じて疑うことはない

ただきみを あたたかく やわらかく
まもってくれるものが

失われることだけを
ひたすら 怖れている

強い言葉で

おせっかいはやめたとさえ言えずに

きみの親指がメールを打つとき

液晶の中に現れるトリックスターが
きみに問いかける謎

「世界でいちばん高い塔は
バベルの塔？」

ヘッドフォンから
流れてくるのは

どこにも存在しないラブストーリーと
平面に過ぎない現実をバーチャルに置換える

きみのフェイバリットのヒットチューン

自分の中の破壊衝動に
気づいても

それはただきみ自身に向かうだけだから

すべてのニュースに理解できない
ふりをして

だけどきみの思惑にはおかまいなく
グローバルから置き去りにされ
日陰の半球に棲息する憎悪たち

きみの親指がメールを打つとき
液晶の中に現れるトリックスターが
きみに問いかける謎

「世界でいちばん高い塔は
バベルの塔？」

Pretty Apocalypse (後書き)

フラッシュバージョンはこちら。

[http://page.freett.com/m|a|e/a
pocalypse.html](http://page.freett.com/m|a|e/a
pocalypse.html)

Back In The 覚脳旧ソビエト型

■ Back In The 覚脳旧ソビエト型 ■

この国の少女たちは 齧齒類の狡猾さを隠しきれない
彼女たちの群れるコンビニは 動物園のにおいがする
バーガーやドーナツのように 男を食べたくなる夜
カラオケで歌い続ける 使い捨てのJ・POP

夕暮れの上に帰る先は ベッドタウンの手垢にまみれた
哺乳類のOrdinary Lifeと 不良たちまでが夢見てる
階級制度は透明だから 口癖になったNo problem.
SMクラブへ行けば 女王様になれるかな？

Back In The 覚脳旧ソビエト型 憧れのバラ
ライカ・ガール

日本へ旅するのなら お土産にはトカレフを
Back In The 覚脳旧ソビエト型 ロシアより
愛をこめて

黒星^{ヘイシ}なんかじゃない 本物のトカレフをね

今夜初めて出会った少女が したり顔で喋り始める
あなたはいつまで密造詩を反芻するの？
一級言語捏造士の国家資格をもつてないくせに
詩人を詐称するのは許せない犯罪よと
裁判官みたいな口を利くイエローキャブは
万引きをするのにも ぜんぜん罪悪感などない

地球上にただひとつ残された最後の社会主義国
マルクスも予言できなかった天皇制下のソビエト
それは人類が到達した究極の国家だから
意味と物語は喪われて God Save The Empero
r!!

Back In The 覚脳旧ソビエト型 トロツキ
もゴルバチョフも

黒海へのバカンスは 気をつけて行きな
Back In The 覚脳旧ソビエト型 歴史は繰り返すのさ

失脚は突然 駈け足でやってくる

あるいは年号に切り取られた時間に誘い込まれ
世界の記憶を失っていくシテとアド
この国の外では日本語は通じないし
だいいち まだ鎖国は終わってないんだしね

だけど けれども Don't worry, baby.
ここでは戦争を不妊手術した代わりに
スケープゴートを日々屠殺してるから
システムは永続し Everything's getting
better.

Back In The 覚脳旧ソビエト型 ピロシキと
ボルシチをスパシーボ

知ってるロシア語はこれだけさ あとはボディーランゲージ
Back In The 覚脳旧ソビエト型 ロシアより
愛をこめて

變をいめて

B a c k I n T h e 覚脳旧ソビエト型 ロシアより

星の瞳に花の愛を

■ 星の瞳に花の愛を ■

月蝕の夜は 妖しい血の色
不吉に更けゆく 二人の渚
セーラームーンの コスプレできめて
あなたは踊る 波打ち際で

遠き国より 流れ寄る死体
海のむこうは 核戦争だぜ
幻覚見ても ナイフ抜かないで
南極育ちの 過去なんて
今は 忘れて

厚いメイクして 隠した哀愁
今夜は僕が 癒してあげる
熱い接吻くちづけに 地軸は傾く
歴史の終焉おわりに 夜空は輝く

愛の証しに 犯した罪も
恋するハートは 善悪の彼岸
神の悪意に 復讐は今さ
断頭台には 歓声が
そして やがて

星の瞳に 僕は導かれ

世界に贈ろう 愛の花びら

狂気と無垢とが 睦み合う夜に

銀河の彼方で 二人はひとつ

銀河の彼方で 二人はひとつ

星の瞳に花の愛を（後書き）

YouTubeに動画（歌入り）バージョンがあります。

<http://jp.youtube.com/watch?v=82FgDT-D-E>

春ぢごく 抄

■春ぢごく 抄■

貴女は御存知ですか

向かふ側の覗きからくりから此方を見ると
世界の真中に真紅な血の色をした
巨大な花が咲いてゐるのが見へるのです

一輪だけの其の花は禍々しい花卉の深奥の
何とも淫靡な花芯から

絶へ間無く毒の煙を吐き出して居り

其の毒はやはらかい陽射しの中や春霞や

櫻の舞ひ散る微風の裏に然り氣無く紛れ込むので
貴女は其れに一握のいかゞわしさを感じつゝも
甘い薫りにつつい負けて吸込んでしまふ

そして其れは恰も阿芙蓉のやうに

貴女の身體も精神をもじはじはと蝕んで

何時しか貴女は春の手籠めにされてしまふでせう

春は貴女を抱擁し接吻しながら

微かな苦味を含んだ蜜を舌の先に乗せ

彼奴の唾液と共に貴女の喉に送り込むのです

そして貴女は夢見心地の儘

春の愛奴となつてゆつくりと年老いて行く

其れは或る意味で永遠と云つて好いのでせうか

さあ僕は花の中で一頻り舞つて

そして行く事にしますね
僕はもうこの世界へ
戻って来る事は無いのです

世界最終戦争

■世界最終戦争■

あなたのスコア、および物質界と想像のすべての理由がそうであるあなたの神聖なゲーム脳は超越しました。肉は彼を招待した概念の時間から腐食し、どれが無知な人々になったかの中の文化の罔がエラーを熟させた一方、最後の戦争以来の精神的な「すべて」起源に世界で続きます、私の酸性度に酸味のゲシュタルトがそうである遺伝子に蓄積され続ける、生命体の熱死。それは想像の胞子になり分配されます。それが正確にである私の仲裁としての社会、宇宙。言語の調性はあなたです。重大な僭主は懐胎します。世界中の綾はその間一定です、彼らはデフォルトによってセット・アップされた愚民です。それ、前もって、穴によって、それは、破壊のプログラムの環境のためにそのようなものでない生命オブジェクトおよび（特に）あなたを否定する必要がありました、人々のグローヴから降りてください。

世界最終戦争（後書き）

YouTubeの動画（ポエトリリーディング？入り）バージョ
ン。

<http://jp.youtube.com/watch?v=3t2a5Fsq5K0>

隔絶

■ 隔絶 ■

いつか あなたが目覚めた時
それはあたかもホワイトクリスマスの
朝のいちめんの雪のように
死が世界を覆っている

あなたと外界との間

そこあるのは距離でなく
ただ 隔絶だけなのです

何かを はたらきかけようとしても
ただ 世界は仮面の顔で
あなたに ちよつと振り返り
また忙しそうに回転をつづける

それだけでしょう

何も考えず

やわらかい自閉に埋もれなさい

そこは やすらぎが照る場所です

そこは 救済が降る場所です

隔絶（後書き）

「隔絶」のフラッシュバージョンは、[こちらから](http://page.freett.com/male/)どうぞ。

<http://page.freett.com/male/>

僕はTVで戦争を見ている コントローラーを手にして

■僕はTVで戦争を見ている コントローラーを手にして ■

あなたは劣等感をもったことがありますか？

あなたは優越感をもったことがありますか？

あなたは人を殴ったことがありますか？

あなたは殺意をおぼえたことがありますか？

あなたは戦争に反対ですか？

あなたは人を愛したことがありますか？

あなたは誰かに愛されたことがありますか？

あなたは死にたいと思ったことがありますか？

あなたは万引きをしたことがありますか？

あなたは戦争に反対ですか？

あなたは人に感謝したことがありますか？

あなたは他人のお節介をウザいと思ったことがありますか？

あなたは孤独を感じて泣いた夜がありますか？

あなたは本当の自由について考えたことがありますか？

あなたは戦争に反対ですか？

あなたは世界の終わりが来ればいいと思っっていますか？

とにかく生きていれば人間は幸せなのですか？

死んだ人間たちの残したものがわかりましたか？（ ）

あなたは生まれてきてよかったと思いますか？

あなたは戦争に反対ですか？

僕はTVで戦争を見ている コントローラーを手にして（後書き）

現代詩の大御所、谷川俊太郎大先生が作詞された歌に「死んだ男の残したものは」（作曲：武満徹）というのがあります。

記号傀儡師

■記号傀儡師■

枯渴した 彼は 自意識の果て
紡ぐものは かろうじて
生きて いる ことの
信号

それは あざやか ですか

ぼくは 注入者 では
ありません

微妙な色彩に見えた の は
たんに 色褪せてしまっていた
から

農耕社会特有の 呼気 が
限りなくゼロに近い 跳躍力
彼の

隠蔽は努力されてきたの だろう

意味もない 酒宴 が
お開きになれば
何も

たぶん まったく
感傷 されない

それ に 微光を与えるの は じつは
たぶん ぼく の なかの

たとえば

乱数で作った うた

に も

いのちを 仮想することが できる

それだけの

視界にはいった とき

虚空の彼方に流れて行く 彼の

きわめて薄い 死

そう

ほとんど知覚され ない
もう

すでに 終わってしまった

終わりすら も

なく

予定されていた

X - f o r m a t

X - f o r m a t

意識の運動が光速に近づくと

そこは もしかすると世界の果て

あるいは 存在の果て

つくられるやいなや崩れていく砂の造形物のように

いましがた生まれた記憶は たちまち失われる

ぼくの後ろには ただ砂の航跡が残り

それが世界のすべてだ

ここには もう暖かさや水分はない

遠い記憶については

たぶん存在していたという靄のようなものが

かろうじて知覚されるだけだ

それが いつまで存在するのは定かでない

液体の流れのように絡まり合いながら

すべてはフェイドアウトしていく

今はまだ あなたのことを想い出せるけれど

脳裏にイメージを作り出すことは

しだいに困難になっていく

そして そのためには常に

テンションを高めつづける努力が必要だ

しかし 結局それには何の意味もないのだ

やがて・・・

ぼくはすべてをまったく必要としなくなるだろう

あらゆる放物線の頂点にあたる場所で

時間は極度に圧縮されて別のものに変容する

人類の知っている あらゆるコミュニケーションの方法では
伝達することができないもの

感覚でも受け止めることができないもの

記憶あるいは情報の集積が世界のすべてなのだろうか？

この世界のあらゆるシステムへの依存を離脱し

すべてが消滅したあとに姿を見せる何か

意識体 生命体・・・存在

もう それですらないステータスがあるのだろうか？

ぼくはフォーマットされていく

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8895e/>

HI・RU・KO

2010年10月9日11時49分発行